

2030年ビジョン

Change the Future

～技術と創造力で新時代に新価値を提供します～

2021年度 ▶ 2023年度 中期経営方針

グループの総合力で新価値を創造する

製造・管理 収支構造の変革(闘える身体作り)

開発 収益構造の転換(闘い方の変革)

販売 収益源泉の多様化の構築

株主の皆様へ



代表取締役 社長執行役員
金森 俊幸



代表取締役 副社長執行役員
田中 英一郎

平素より株主・投資家の皆様におかれましては、当社の事業運営に格別のご支援を賜り、ここに厚く御礼申し上げます。

さて、第70期の年次報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

第70期を振り返って

当社を取り巻く経営環境は、自動車業界では、CASEの進展による大変革に加え、新型コロナウイルスの感染拡大影響による物流の停滞、半導体がボトルネックとなるサプライチェーンの混乱により、予断を許さない状況が続いております。

自動車の急速な電動化、自動運転やインターネットを介して社会インフラと繋がるコネクティッドカーなどの車の知能化、そして、車の所有から共用化の拡大など自動車に対するニーズや価値観の変化が急速に進んでいること

より、コンベンショナルな製品のコモディティ化が急速に進み、メカニカルな製品の競争は新たな機能・付加価値を生み出す生産技術型から、コスト重視の量産型へ移行しております。

今後に向けて

このような変化に対し、生産技術・開発領域では技術ノウハウの外販と電動化分野を中心に新分野への展開を、量産領域においては徹底したローコストオペレーションの実現を図ってまいります。このようにそれぞれの軸における方針を推進し、「収支構造の変革」および「収益構造の転換」を図ってまいります。また、販売領域ではシェアリングを見据えた「収益源泉の多様化の構築」を重点方針に掲げ、グループ一丸となって強力に推進してまいります。

その対応の基本的な方向性を下記の通り明確化しました。

- 1) 高効率モーターの要素技術およびその製造技術の開発と収益化
- 2) 合理化の為にAI技術、IoT技術およびこれらを活用した自動化設備の開発と販売
- 3) 既存アルミダイカスト技術の進化とその技術を活用した軽量化部品の開発
- 4) 上記アルミダイカスト製品の販路拡大
- 5) 自動車部品製造の徹底した合理化と固定費の削減(既存事業領域)

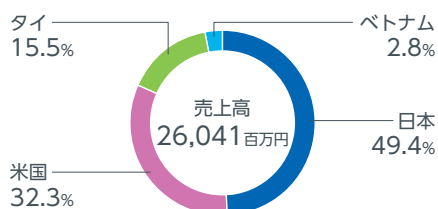
株主の皆様には、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

	第67期 通期	第68期 通期	第69期 通期	第70期 通期
売上高	38,402	38,115	32,004	26,041
営業利益	1,884	1,440	△320	△239
経常利益	1,979	1,652	△162	△197
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,316	484	△670	△571

(単位：百万円)

セグメント別業績



	日本	米国	タイ	ベトナム
売上高	12,868	8,418	4,039	715
セグメント利益	△260	△178	91	96

(単位：百万円)

人工知能ソフトウェアの開発・販売について



人工知能に学習させるための
「もう一つの人工知能」

この度、当社は人工知能のひとつであるMT法の計算ソフトウェア「Signal Catcher」を開発いたしました。

MT法は、医療分野において診断結果から総合的な健康度を判定したり、農業分野において気候データや肥料濃度から収穫量を予測したりと幅広い用途で活用されております。しかし、活用に至るまでには、人工知能に多くの情報を学習させる必要があり、学習データを作成するには有識者による試行錯誤や膨大な検討時間を要しておりました。それらの作業を自動化したのが「Signal Catcher」です。本ソフトウェアを利用することで、誰でも短時間で人工知能への学習作業が行えるようになります。

多様な分野への売り込みを目標として、2021年2月25日よりテスト販売を開始し、現在は本格販売を目指し推進中であり、社内においては婦中工場で量産設備における金型破損の予兆保全に活用しており、今後も活用の幅を広げてまいります。

新規受注について

この度、当社と当社子会社TANAKA PRECISION (THAILAND) Co.,Ltd.(タナカ・プレジジョン(タイランド)カンパニーリミテッド)は次の新規受注をいたしました。

	日本	タイ
受注品	米国向けV6車種のエンジン部品（動弁系部品）	アセアン向け小型SUV車種のエンジン部品（動弁系部品）
量産開始予定	2022年1月	2021年10月
売上高見込み	年約20億円	年約52百万パーツ（約1.7億円）
製造関連設備投資	12億円	35百万パーツ（約1.1億円）

当社グループは、これら既存事業での受注獲得により収益基盤を強化しつつ、自動車の電動化を始めとしたサステナブルな社会実現への貢献を目指し、新規事業展開への資源配分を拡大してまいります。



量産開始に向け生産準備中の婦中工場

会社データ (2021年6月23日現在)

会社概要

商号	田中精密工業株式会社
(英文社名)	TANAKA SEIMITSU KOGYO CO., LTD.
創業	1948年3月1日
設立	1951年3月12日
資本金	5億19万円
従業員数	592名(連結: 1,790名)
事業内容	自動車部品製造販売
主要販売先	本田技研工業株式会社/アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社/マツダ株式会社/川崎重工業株式会社/株式会社アイシン(旧アイシン・エイ・ダブリュ株式会社)/スズキ株式会社/ヤマハ発動機株式会社

役員 (2021年6月23日現在)

代表取締役	社長執行役員	金森 俊幸
代表取締役	副社長執行役員	田中 英一郎
取締役	執行役員	山田 勝也
取締役	執行役員	沖 健司
取締役		今村 元
	執行役員	浅生 忠和
	執行役員	松本 智
常勤監査役		稲垣 浩靖
監査役		桶屋 泰三
監査役		高木 悦郎

株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	32,640,000株
発行済株式の総数	9,763,600株
株主数	5,440名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
本田技研工業株式会社	2,376	24.34
田中共進会持株会	1,023	10.48
田中一郎	584	5.99
田中龍	529	5.42
名古屋中小企業投資育成株式会社	527	5.40
株式会社商工組合中央金庫	350	3.59
株式会社北陸銀行	310	3.18
田中精密工業従業員持株会	275	2.82
株式会社富山第一銀行	270	2.77
株式会社三菱UFJ銀行	160	1.64

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券本店および全国各支店プラネットブース (みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の特別口座の場合の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。



TANAKA 田中精密工業株式会社

〒930-0996 富山県富山市新庄本町二丁目7番10号
TEL: 076-469-9107(代表) FAX: 076-469-6422

公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL (http://www.tanasei.co.jp)